

フッ素洗浄の推奨

ガイドラインと提案

ツール:

ツールを洗浄する際、最も重要なことはすべてのほこり粒子を取り除くことです。したがって、高圧空気でツールを丁寧に洗浄するか、掃除機で掃除してください。ブラシに関しては、ワックスクリーナーにブラシを浸し、空気圧で吹き付け、乾いたら掃除機で掃除するというさまざまな方法を使用できます。

より柔らかいブラシ、ロトウール、ロトフリース（粉末と液体に使用）は洗浄が難しいようです。これらの洗浄は決定的ではありません。交換するのが最善です。

プレキシスクレーパー - ワックスリムーバーで洗浄。ワックステーブルとスキープロファイルも洗浄します。

アイアンをフッ素フリー (FF) ホットワックスで洗浄後、きれいな紙で乾かします。

スキー:

ベースからフッ素を除去する方法としての再研磨は、これまでのところ決定的ではありません。再研磨後、ベースに FF ワックスを数回ホットワックスすることをお勧めします。

まず、液体ワックス除去剤でスキーを最低 2 回洗浄します。ブラシ（金属ブラシ）で間に挟んで乾燥させます。

次に、ホットワックスとスクレーピングでスキーを最低 2 回洗浄します。フッ素フリーのワックスと洗浄用具（ブラシ）を使用する必要があることに注意してください。使い心地の良いベースワックスを探し（柔らかいワックスと硬いワックスを混ぜたものの方が効果的です）、何よりもフッ素フリーであることを確認してください。

雪上でトレーニングするときは、スキーに FF ワックスを塗り続け、すべてのスキーが滑走されていることを確認してください。

春と夏のスキーキャンプの後、前の手順に従い、スキーの洗浄品質を確認したら、FF レースワックスの使用を開始できます。使用するワックスの品質に常に細心の注意を払ってください（ワックスの供給元に連絡して、適切な計画を立ててください）。

スキーバッグ:

スキーバッグを掃除機で吸い取り、ワックス除去剤で内部を吹き飛ばして拭き、丁寧に洗浄します。それが不可能な場合、または最終的な効果がわからない場合は、交換したほうがよいでしょう。

スキークリップ/スキーバンド:

洗うか交換してください。

スキースタンド:

スキースタンドを掃除機で吸い取り、ワックスリムーバーで吹き付け、拭き取り/スプレーして、丁寧に掃除してください。

ワックス ボックス/引き出し:

すべてのボックスと引き出しを、掃除機をかけ、吹き飛ばし、ワックス除去剤で拭いて、丁寧に掃除してください。

作業服:

フッ素フリー製品の使用を開始する前に、作業服とエプロンを洗ってください。ほこりっぽい服やエプロンによる汚染の可能性が非常に高いです。

ワックス:

使用するワックスがフッ素フリー認定を受けていることを確認し、ワックス サプライヤーに連絡して計画を立ててください。内容について完全に確信がある限り、独自の外部添加剤で「公式」ワックスを操作しないでください。プロジェクトの経験から、多くの製品、特に洗浄および潤滑には、禁止されているフッ素添加物が含まれています。

ワックス除去剤:

注: すべてのワックス除去剤が FF であることが保証されているわけではありません。プロバイダー/メーカーに確認してください。

次のシーズンに向けて機器を準備するには、思慮深いアプローチとさまざまな洗浄手順の十分な理解が必要です。最初に大きな部分 (ワックス キャビン、テーブルなど) のクリーニングを開始し、その後、より細かい部分に進むのがよい方法です。そうしないと、途中で汚染が発生するリスクが大きくなり、完全な制御を行うには手順とステップを何度もやり直す必要があります。